

Yucca ってどんなところ？なにをやっているの？

地域交流スペース Yucca (ユッカ)

平成19年度、文部科学省が進める「特色ある大学支援プログラム (特色GP)」が採択され、大学と地域を結ぶ交流拠点をオープンすることになりました。これが Yucca (ユッカ) です。

地域の方々との出会いの場を学生たちの学びの場とする一方、地域にも若者の力を還元できればと考えます。

Yucca とは…

Yamaguchi Prefectural
University
Creates
Community
Activities

観葉植物の「青年の樹」(ユッカ)から命名しました。

はじめまして

8月から Yucca に務めることになりました。ウン十年前に保健師になり県下各地を転々としてきました。地域保健活動を通して多くの方々と出会い一緒に泣いたり笑ったり、感激したり。多くの人と関わり感動を共有することができました。そして今、ご縁があって若い学生さんと一緒に活動できることを非常に楽しみにしています。

福祉についてはほぼ素人です。

どうぞ鍛えてください。気持はいつも青春？天然ボケ？何でも自分で見て聞いて体験をしないと納得できない現場大好き人間です。今一番はまっているのはミニ菜園での野菜づくり。雑草やカラスと戦いながら楽しんでいます。

何事も楽しみながら向き合いたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

地域実習コーディネーター



河野幸恵

プログラムしょうかい！ オールディーズカフェのまき



“古きよきもの”を高齢者から学び、“古きよきもの”を伝えていくそんな交流の機会を期待しています。

高齢者福祉に関心のある学生が、現在15人登録しています。これまでに企画、実施したものは、桜島下明朗会 (老人クラブ) の方々とグランドゴルフ大会、もちつき、桜餅パーティーなど様々です。

若さで対抗したグランドゴルフ。飛距離も正確さもなかなか追いつかず、桜餅でおもてなしと思えば、「レンジじゃ追いつかん！」とせいろなど必要な道具はすべて下明朗会の方が手配してくださいました。学生は体力も、段取りも毎回勝ち目なく、学ぶことばかりでした。

9月からは、学生が主体となって、地域の方を対象とした「認知症講座」を開催しますので、是非ご参加ください。

くらもち・みたらしだんごパーティー

4月26日(土) Yuccaにて開催

8つのグループに分かれて桜餅などを作った後、味見をしながら交流しました。



87人の参加者
全員集合！ Yucca
がとても狭く感じられます。

横山先生から地域の方々へ ごあいさつ

本学の特長は、子どもたちから高齢者の方まで「色々な人との出会いがある」ことです。

皆様との出会いは学生自らの生活と人生をととても豊かにしてくれます。将来社会福祉の現場で働く学生にとっては、色々な失敗を重ねながらの企画・運営で失礼な点もあるかもしれませんが、どうぞ学生1人1人の顔をみながら暖かく、そして厳しく色々なことを伝えて頂ければ幸いです。

その他のプログラム

ベビーカフェ (山本佳代子)
子育て中の親子とアロマ等を通じて交流しています。
※要予約

子育てピアカウンセリング (大石由紀子)
子育て中の親子とリラックスした空間の中で交流。臨床心理士、助産師が同席します。 ※要予約

ホッとスペースふらっと (高木健志)
コミュニティ・メンタルヘルスのプログラム。精神障害者の方とのゆったりとした交流をします。

タンDEMサイクリング (重岡修)
2人乗り自転車のサークル活動。現在は、安全に乗るための練習中です。

はーとボランティア講座 (藤田久美)
自ら参加した大学生ボランティアによる高校生のためのボランティア講座です。

学生主体のプログラム
各種サークル活動
有志によるイベント企画
地域との協働イベントなど

県大卒業生 パパ&ママサークル

発足会 Yuccaにて



楽しかったよ！
また会おうね！！

女子大から県立大学へと変わり今年で10年が経ちます。卒業生たちも結婚し、母親となった方たちも増えています。

そんな中、育児の相談をもっと身近な仲間で、もっと気軽にできたらということで、今年4月に卒業生の為の育児サークルを立ち上げる事になりました。

Momm y's home はじまりました！

5月より活動を開始し、月に1度、Yuccaを拠点に活動をさせていただいています。

5月の第一回目は、最初にしては利用人数も多く、「育児の相談をもっと身近に」という当初の目的を達することができたかのように、和気あいあいとした雰囲気の中進められました。

Yuccaという空間も、ママたちにはとても好評で、大人にはもちろん、子どもたちにも優しい作りになっています。遊ぶのには十分すぎるスペースとおもちゃが豊富に用意され、ママも子どももとても過ごしやすいくとのことでした。

現在は Open Café の時間は一般の方も利用可能です。県大卒業生のママ達もこれをきっかけに、ゆくゆくは地域のママたちとの交流も増えたらと思っています。

県大卒業生ママも、地域のママも、これを機にぜひ Yucca でママの輪を広げませんか?? お待ちしております。

(リーダー 江本)

維新公園河川プール



あなたも裁判員セミナー 第2弾

第1弾 公開講座

平成21年5月から裁判員制度がスタートします。選挙権のある人は全員その対象者となり、山口県では8人に1人が候補者に、生涯では160人に1人が裁判員になる確率だそうです。

そこで県立大学では、山口地方裁判所、山口地方検察庁、山口県弁護士会と共催で講座を開催しました。

5月16日(金)は、学生と地域住民で120人以上参加し、新講堂で「裁判員制度の概要」について学びました。

現役の裁判官から裁判員裁判の手續、市民参加の意義について、陪審員との違いも含めて説明を受けました。

まだ始まっていない制度ですが、市民としてどのような意識



で臨むのか、不安も含めて多くの質問がでました。



向野 剛 裁判官



本先生からのコメント

社会正義の実現の観点から、罪を犯した者が法網から逃れることは許されませんし、また、人権擁護の観点から無辜の者が処罰されることがあってはなりません。そのため、事実認定は適正に行われなければなりません。

また、認定された事実は、有罪の場合、量刑に影響を与えるものです。事実認定は、法規の解釈・適用とともに裁判の要なのです。

Yucca は法廷に様変わり。参加者は「裁判員」、藪本ゼミ生が、被告人、弁護人、検察官、証人の役を受け持ち模擬法廷が開かれました。

裁判官の役は、5月は宮部裁判官、6月は伊藤検事、7月は弁護士会が受け持ち、裁判員制度、裁判手続きや事実認定のポイントを整理しながら進行されました。実際の「評議」は裁判官3人、裁判員6人で行われますので、それに近い形で初対面の学生、一般参加者が少人数でお互いの意見を交わしました。



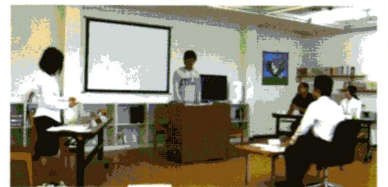
Yucca裁判! あなたの判決はいいか?

事件の概略

午後8時頃事件発生。80歳の老女が後ろから押し倒され、巾着袋に入れた封筒入りの現金5万5千円を強奪され、全治2週間のけがを負う。事件20分後2km離れた場所で被告人の身柄が確保される。

以下の証拠をもとに、あなたならどんな判決を下しますか?

- ・目撃者はいない
- ・被害者は犯人の顔をみていない
- ・被告人は「白っぽい長袖Tシャツを着た若い男」の特徴に同じ
- ・被告人は犯行直後現場付近にいた。・現場付近とはいえ2km離れていた
- ・巾着・封筒が被告人と現場の間に落ちていた
- ・巾着袋・封筒には被告人の指紋なし
- ・奪われた金額と同じ金額を所持
- ・金種(お札の種類と数)が同じ
- ・証人は奪われた金種は理由があって覚えており、封筒の口をホチキスで留めた
- ・封筒にホチキスの針が残り、お札にも穴がある
- ・お札の穴とその針との位置関係、大きさが同じ
- ・被告人は収入が不安定(定職はなく親から小遣いをもらっていた)
- ・訪問予定の友達の名前、住所を知らない(仕事を紹介してもらった予定だった)
- ・財布とは別に裸で現金を所持
- ・そのお金は友人Aの友人Bから返済されたもの。Bの名前は不明。
- ・友人Aの名前は言いたくない(迷惑がかかるから)
- ・被告人は一貫して犯行を否定。供述の内容も同じ



模擬裁判の結果

同じシナリオでも、5月は<有罪>、6月は<無罪>7月は五分五分で<有罪>の判断が多く、量刑も分かれました。

感想では、仕組の理解ができ貴重な体験だったと好評な面と、証拠の見方、判断の難しさ、責任の重さ等不安な面が出されました。

Yucca利用 のすすめ

Yucca は、教員・学生が、地域の方々との交流を通して学びの場を作ることが大きな目的です。

利用に関しては地域実習コーディネーターまでご連絡ください。

Yucca に常駐ではないため、連絡がつきにくいこともあります、ご了承ください。

学生のみなさん！

Yucca は学生の学びの場です。定例の事業以外にも、積極的に活用しましょう！

現在の定例のプログラムは、最初の2ページでご紹介しました。“おっ！何だかおもしろそう”興味をそそられた内容があった人。早速、担当教員へ連絡しましょう！

このほか、サークル活動や打合せにも利用されています。定例で活動しているのは、

- ☆ ぷちぼら (ボランティアセンター)
- ☆ プチポアン (点訳活動)
- ☆ タンデム (2人乗り自転車)
- ☆ Mommy's home
(卒業生子育て支援サークル)
- ☆ おはなしの森 (朗読)
- ☆ やまぐち韓国研究会

など

地域のみなさん！ 企画をとおして...

地域の力を学生に、学生の力を地域に…。

協働すれば、秘められた可能性は何倍にもなるのでは？

参考) は一とボランティア講座 … 高校生と大学生の講座

マロニエの森の会 … 里山の維持管理など

NPOコミュニティ … 上映会、講演会等の交流事業

Open c a fé をとおして...

Yucca の利用は、学生、教員の授業や企画が中心ですが、空いているときは地域の方との交流の場として提供しています。

玄関横掲示板やホームページにオープンカフェの予定を掲示しますので、遊びに来てください。



フリードリンク 100円

何杯、何種類飲んでも1回が
このお値段！お試しあれ。



イベント企画では、

◇「BOND」(環境デザイン)
作品展覧会

◇チームキャンパルナイト YPU∞
キャンパルナイトの準備打合せ

◇は一とボランティア講座 (社福)
高校生対象の講座

◇「World Bazar」(国際)
子ども会とのワークショップ

◇NPO コミュニティメディア
映画監督講演会、上映会など

企画や運営に必要な能力やノウハウ、苦労や達成感は経験して初めて体感できるもの。この環境を使わない手はない！

あなたの思いを形にしてみませんか？

～ あ と が き ～

特色GP事業は3か年の補助事業です。19年度に準備をし、平成20年度から本格的に事業が実施されるようになりました。

地域の人々からの励ましの言葉や貴重なご意見も寄せられつつあります。

現在は教員と学生中心のプログラムに地域の方の協力をいただく形が多いですが、今後は色々な可能性を求めて事業が進められていくことが期待されています。

お気づきの点やご意見は、お気軽にYucca(地域実習コーディネーター 河野)までご連絡下さい。

Yucca にゆーす

担当：平岡・江本・岩本